

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 5 番 氏名 沖田真治

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1. U・I ターンや定住促進とふるさと郷育の推進について

##### (1) U・I ターンと定住支援について

- ① 浜田市総合振興計画後期基本計画における令和 4 年度から令和 7 年度までの U・I ターン者数の目標値を累計で 840 人としているが、令和 6 年 12 月末までの U・I ターン者数の実績を伺う。
- ② 多くの市町村の中から定住先として本市を選ぶ理由をどのように認識しているか伺う。
- ③ 本市への定住を促進するうえで何を課題と捉えているか伺う。
- ④ 課題解決のための新たな定住支援に対する考えを伺う。

##### (2) 関係人口との協働による課題解決の推進について

- ① 令和 7 年度までの関係人口による浜田応援団が実施する応援活動件数の目標値を累計で 40 件としているが、令和 6 年 12 月末までの応援活動件数の実績を伺う。
- ② 関係人口を増やす取り組みとして「浜田応援団」の運営を行っているが、ふるさと島根定住財団が運営する「しまっち」と機能は同様であり、市単独で「浜田応援団」を運営することは内容、費用的にも重複感があるように思えるが、市としての考えを伺う。

##### (3) 歴史・文化の伝承と創造について

- ① 歴史文化保存展示施設整備を進めるうえで専門的な解説ができる職員、ボランティアガイドが居ると居ないとでは施設の来場に大きな影響を与えている。今後、施設整備を進めるのであれば、小中学校でのふるさと郷育における歴史・文化の伝承の観点からも専門知識を有する人材の育成も進めていく必要があると思うが、市としての考えを伺う。

#### 2. 地域の特性を活かした安心して暮らせるはまだづくりについて

##### (1) 公共交通の充実について

- ① 効率的で持続可能な交通体系の構築が必要である。市が主管する公共交通(生活路線バス及び予約型乗り合いタクシー)については、定期的に運行計画の見直しを行うとあるが、現状での見直しがあるのか伺う。
- ② 利用しやすい交通環境の整備が必要であり、令和 7 年度までに公共交通利用促進策の増加としての目標値を 14 事業としているが、現時点の事業数について伺う。

# 一般質問発言通告書

議席番号 3 番

氏名 大谷 学

答弁を求める者  
(○をつける)

☒市長 ☒教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

## 発言項目及び要旨

### 1. オーガニックビレッジの推進について

#### (1) 全国オーガニック給食協議会への加入について

- ① 令和6年9月の定例会議における個人一般質問において、「学校給食の有機化」を目指すことによって地元の子どもたちに安心安全な食材を提供できることから農家のモチベーションが向上し、作ったら買ってもらえると販路の安定化になることから有機農産品の生産量が飛躍的に増加している千葉県いすみ市の事例を紹介した。浜田市がオーガニックビレッジを目指すのであれば、生産者の意欲向上や販路確保につなげるためにもこの協議会に加入して、先進事例を学び農業振興に努めるべきと加入を提案した。検討するとの回答であったが、加入するのか市のその後の検討状況を伺う。

### 2. 人権や文化を尊重する共生社会の実現について

#### (1) 手話言語条例の制定について

- ① 令和6年12月に松江市手話言語条例が制定された。平成25年10月に鳥取県が初めて条例を制定して以降、制定する自治体は増加している。全日本ろうあ連盟の調査によると、39都道府県21区364市125町7村で合計556の自治体が制定したとのことである。島根県では松江市・出雲市・益田市・吉賀町・津和野町の3市2町が既に条例を制定している。浜田市は全国手話言語市区長会の会員でもあることから、この条例の制定に向けて動くべきと考えるが、市の認識を伺う。

### 3. 小中学校における教育環境の充実について

#### (1) 「主体的・対話的で深い学び」に向けた教育環境について

新しい学習指導要領は「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養」「生きて働く知識・技能の習得」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の養成」を目標として総則に規定されている。指導に当たっては、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を進め子供たちの力をバランスよく育むことを求め改訂され、小学校では令和2年から、中学校では令和3年から全面实施となっている。

- ① 「主体的・対話的な学び」についてどのような支援をしているのか、現状を伺う。
- ② 「深い学び」についてどのような支援をしているのか、現状を伺う。

#### (2) 3Dプリンター等の最先端機材の導入について

- ① 3Dプリンターは配備できているか、台数と配備した学校を伺う。

(3) 校舎の外の自然に関する教育題材について

- ① 水田・畑をもつ学校はあるか伺う。
- ② ビオトープのある学校はあるか伺う。
- ③ 鶏や山羊などの動物を飼育している学校はあるか伺う。
- ④ 百葉箱を設置している学校はあるか伺う。

4. 「ふるさとにしたいくなるまち」を伝える情報発信について

(1) 長野県南箕輪村の移住定住促進サイトについて

南箕輪村は明治8年に人口2,333人で誕生し、その後合併をすることなく今日に至り人口は1万6千人を超えている。全国に先駆けて行ってきた多種多様な子育て支援や高齢者支援等の成果でもあり、加えてSNS等の口コミ情報の拡散によるところが大きいとの村の担当者の分析である。

- ① 情報発信の重要性から南箕輪村の移住定住サイトのトップページを見ると、子どもが笑顔で遊ぶ画像などが50秒の短時間に30枚程度流れ楽しさが伝わってくる。また、トップページの1枚のフレームの中に移住定住として知りたい情報の入り口が全て配置されており「知りたい情報はどこだ？」と探すストレスが少ないと思うが、浜田市としてこのサイトをどのように受け止めるか、その認識を伺う。

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 15 番 氏名 岡 本 正 友

答弁を求める者

(口をつける)

**市長** 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1・住民がつながる施策の必要性について

市長の3期目の最終年度を迎え、施政方針及び教育方針が示されている。二元代表制を担う議員として、これまでの活動を振り返りつつ、今後の浜田の方向性について質問をする。

今回は、「住民がつながる施策の必要性」をテーマに、1点目に少子高齢化対策としての移住定住促進(南箕輪村と伊那市の事例を踏まえて)について、効果的な移住・定住促進策について質す。2点目にコミュニティの「支え合い」機能の衰退に対する解決策について、独居高齢者の孤独死や身元引受人不在の事例が、6件発生している現状を踏まえ、コミュニティの支え合い機能を強化するための具体的な施策について質す。3点目にカーボンニュートラルの市民参画について、脱炭素化が進んでいない現状を鑑み、市民の積極的な参画を推進するための方策について質す。最後 4 点目に衰退しつつある盆踊りと音頭やハイヤ節を再興するための契機とする新浜田市誕生 20 周年「浜っ子夏祭り・大盆踊り大会」記念事業の具体的な計画と取組について質問を行う。

#### (1)少子高齢化対策の移住定住促進について

- ①浜田市の人口減少・少子高齢化の進行状況を問う。
- ②市が実施する主な子育て支援策とその評価及び課題を問う。
- ③市が実施する主な高齢者福祉施策とその評価及び課題を問う。

#### (2)コミュニティの「支え合い」機能の衰退に対する解決策について

- ①独居高齢者の孤独死及び身元引受人不在の事例が6件発生している現状について、市の認識と課題を問う。
- ②独居高齢者の増加が予想される中、孤独死や身元引受人不在の事例が今後増加する可能性について、市はどのように予測し対策を検討されているか問う。
- ③コミュニティの支え合い機能を強化するために、市として現在取り組んでいる具体的な施策について問う。
- ④今後計画している新たな取組について問う。

(3) カーボンニュートラルの取組と浜田市の課題について

- ①カーボンニュートラルの市民参画について、脱炭素化が進んでいない現状を鑑み、浜田市における施策の進捗状況を問う。
- ②カーボンニュートラル実現に向けた具体的な取組について問う。

(4) 「浜っ子夏祭り・大盆踊り大会」について

- ①新浜田市誕生 20 周年を記念して実施される「浜っ子夏祭り・大盆踊り大会」の具体的な内容や計画について問う。
- ②今回の記念事業を契機に、地域で衰退しつつある伝統的な盆踊りや音頭、ハイヤ節を再興するため、具体的にどのような計画や取組を進めていくか問う。

発言No.

9

受付No. 6

令和7年2月13日

(10時32分 受付)

## 一般質問発言通告書

議席番号 18番

氏名 佐々木 豊治

答弁を求める者

☐ 市長

☐ 教育長

☐ 監査委員

☐ 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

☐ 農業委員会会長

☐ 固定資産評価審査委員会委員長

☐ 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 三桜酒造跡地の活用について

- ①今回の施政方針では三桜酒造跡地の活用について、神楽伝承保存施設と郷土資料館の複合施設、神楽上演ができる神楽ホール、屋外交流広場の3つの機能を有した施設を整備することで進める、と示されている。

議論が尽くされないままに今回の提案が出てきたと感じているが所見を伺う。

- ②昨年11月の石見神楽伝承内容検討専門委員会からの提言には「拠点施設の検討が必要」と示してあるが、補足説明として、「建物ありき」とならないようにと示されている。施設整備は必要最小限にという意味合いが込められているものと思う。「神楽ホール」、舞う施設の整備については、利用形態やコストを想定し、収支をシミュレーションするなど、大まかな目安を示すべきと思うが所見を伺う。

- ③三桜酒造跡地公共活用検討委員会からは「民間活用の手法で」との提案もあったが、事業の性格から考えて、それは行わないとの表現だった。少し詳しい説明が必要と感じるが所見を伺う。

- ④昨年の6月補正予算で提案可決した、委託料は370万円の事業で三桜酒造跡地の位置付けや駅周辺の活性化などについて、業務委託し調査するとのことで、12月で業務委託完了と説明されていたが、その結果を伺う。

⑤神楽を舞う施設については、市内に整備された類似の施設もある。

以前の質問では、休演されている「いわみ文化振興センター」とも情報共有することだったが、同センターとの情報共有や連携などは検討されてきたのか伺う。

⑥大阪・関西万博公演など、石見神楽の魅力などはより広がっていくものと思う。

今後、広めた動きをどう観光としてどう観光客などを誘致していくのかが大きな課題と考えるが、観光客の入込み増の取組について所見を伺う。

## 2 市民生活支援について

①米を始めとする物価高や、ガソリン代の高騰などで市民生活に大きな影響を与えている。施政方針には特に物価高に対する生活支援が示されていないように感じているが、市民生活支援としてどのような経済対策を検討していくのか伺う。

## 3 公共交通の取組について

①昨年示された「浜田市地域公共交通計画」では、AI 等の先進技術を活用した効率的、利便性の高い交通サービス導入をめざし、調査研究を行うとされているが、検討状況を伺う。

②昨年8月、岡山県久米南町に AI を活用したデマンド交通の視察で伺った。

大幅な経費の削減や住民利用が倍増し、予約なしの電話連絡ですぐ利用でき、また乗り合い率も上昇しているなど、効率の良い公共交通事業が推進されていた。

人口は4,100人、高齢化率は45%で、開始当初の利用者は8,700人、導入後は1万9,000人に。

タクシー5台を活用し、利用金額は距離にかかわらず町外も利用することができ、1回300円で、65歳以上は県の補助があり半額の150円で利用できる。

「トヨタモビリティ基金」、AI システム「未来シェア SAVSI」を活用。

安価な運賃と、個人で電話で利用したいときに利用できる使いやすさは AI の大きな効果であり、当市でも参考になる取組と思うが所見を伺う。

#### 4 教育施策について

##### (1) 学校体育館へのエアコン整備について

- ①文部科学省は学校体育館のエアコン整備について2033年度まで臨時特例交付金を新設し、整備のペースを加速している。国の補助率は1/2で、地方債を活用することで負担が軽減でき、さらに返済の50%が交付税補助されるようだ。

また、空調の光熱費についても令和7年度から交付税措置がなされる予定となっており、積極的な整備を自治体に求めているが、浜田市での検討はどうか伺う。

##### (2) 校内フリースクールの拡充について

- ①今年度から2校に設置された「校内フリースクール」について、来年度も居場所を整えていくとのことだが、どのような検討がなされているのか伺う。

#### 5 投票支援の取組について

- ①投票に行きにくい市民への支援について、移動投票所の拡充など投票しやすい対応が検討できないか伺う。



発言No.

10

受付No.

1

令和7年2月7日

16時43分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 10 番

氏名 串崎 利行

答弁を求める者

(○をつける)

☐市長 ☐教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

☐農業委員会会長 ☐固定資産評価審査委員会委員長 ☐公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 農業の振興について

##### (1) 農機オペレーター不足について

- ① 農機を扱える人が高齢化などで足りず、集落営農組織のオペレーター不足が深刻化している。農地を集約して規模拡大が進めば、農機を扱うオペレーターの確保は不可欠となるが、市の考えを伺う。

##### (2) 農業のサービス事業体について

- ① 国は農作業の代行などをする「サービス事業体」を育てることに力を入れ、人手不足の解消や手間のかかる作業を任せると聞く。先端技術を使ったスマート農業機械の活用も進んでいるが、小規模農家が所有するのは現実的ではないとされている。小規模農家を経営していくには、サービス事業体が必要とを感じるが、市の考えを伺う。

##### (3) 第三者承継について

- ① 農業の第三者承継を支援する取り組みが広がっている。離農者の経営資源を、家族以外の新規参入者が引き継ぐことは、担い手不足が深刻化する中、地域農業を持続させる有効な手段である。行政、JA、農家組織など関係機関は連携支援を強化するべきと感じるが、市の考えを伺う。

##### (4) 電動草刈機の普及について

- ① みどりの食料システム戦略では、化石燃料の使用量削減に向け、2030年までに、刈払機を含む電動草刈機の普及率50%を目標に掲げている。温室効果ガスの発生を減らすために、電動化の波も押し寄せていると感じるが、市の考えを伺う。

## 2 いじめ対応について

- ① いじめの認知件数が過去最多となる中、警察 OB や保護司など、複数による専門家チームを教育委員会に設置し、学校と連携して個別のいじめ事案や、加害児童生徒への対処に当たる新たな取り組みを始めると聞く。市はどのような対応をするのか考えを伺う。
- ② 浜田市のいじめの認知件数、過去 5 年間の推移を伺う。

## 3 小中学校でのファクス利用や押印について

- ① 小中学校での業務効率化を図るために、2025 年度中にファクス利用や押印を原則廃止する方針である。前回の調査からファクス利用は少し減ったものの、依然高い水準と聞く。市の学校のファクス利用や押印の取り扱い状況を伺う。
- ② 学校のファクス利用や押印の取り扱いについて、今後の対応はどのようなになるのか、市の考えを伺う。

## 4 保育園留学について

- ① 先般弥栄の「や会議」において、地域ブランディングと仕組みをテーマに研修会が行われ、その中で保育園留学の講演があった。子どもが保育園に通いながら家族で地域に 1~2 週間滞在できる暮らし体験である。人口減少が進む中、関係人口を増やし、移住を進めるための一つの対策とを感じるが、市の考えを伺う。

## 5 プラごみの削減について

- ① プラ廃棄量は 20 年前と比べて倍増だと聞く。廃棄されたプラごみが海洋汚染の他、焼却時に出る二酸化炭素の増加による地球温暖化など、さまざまな環境問題を引き起こすことは各種調査から明らかになっている。浜田市は、きれいな海を宣伝するためにも、プラごみの削減に特に力を入れるべきと感じるが、市の考えを伺う。